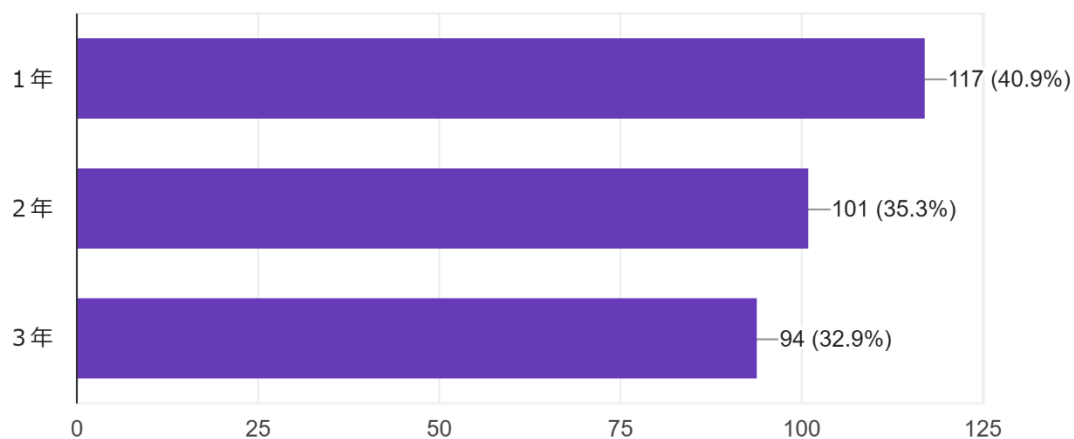


令和6年度 学校評価アンケート（保護者） 1 と思う～4 と思わない、5 わからないで回答

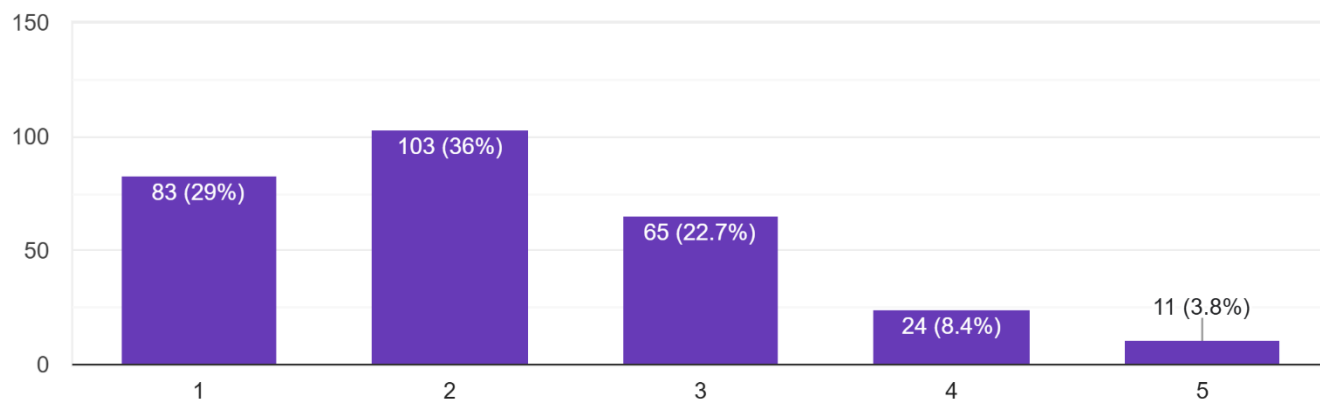
学年（兄弟姉妹で在籍している場合は、該当する学年を複数チェックしてください）

286 件の回答



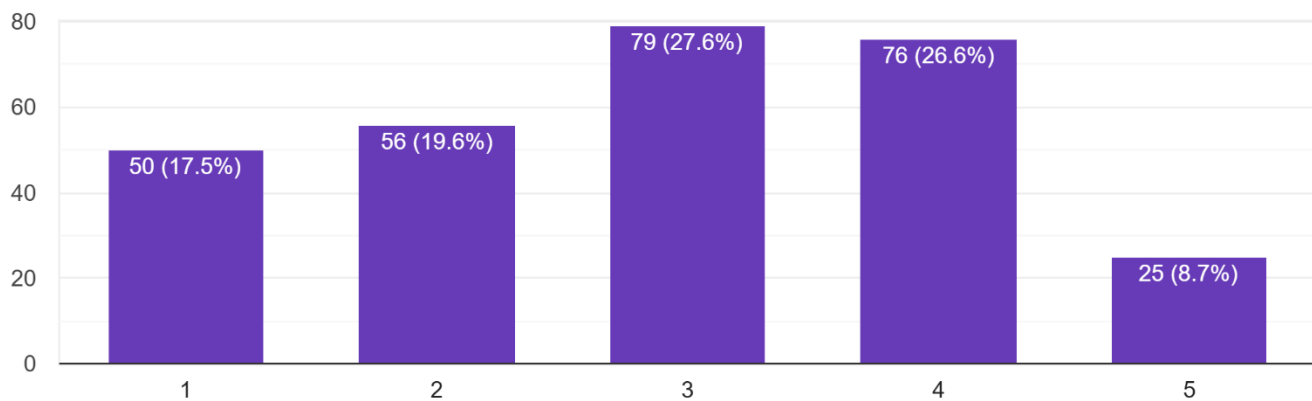
1 家庭で生徒たちと学校の話をよくする

286 件の回答



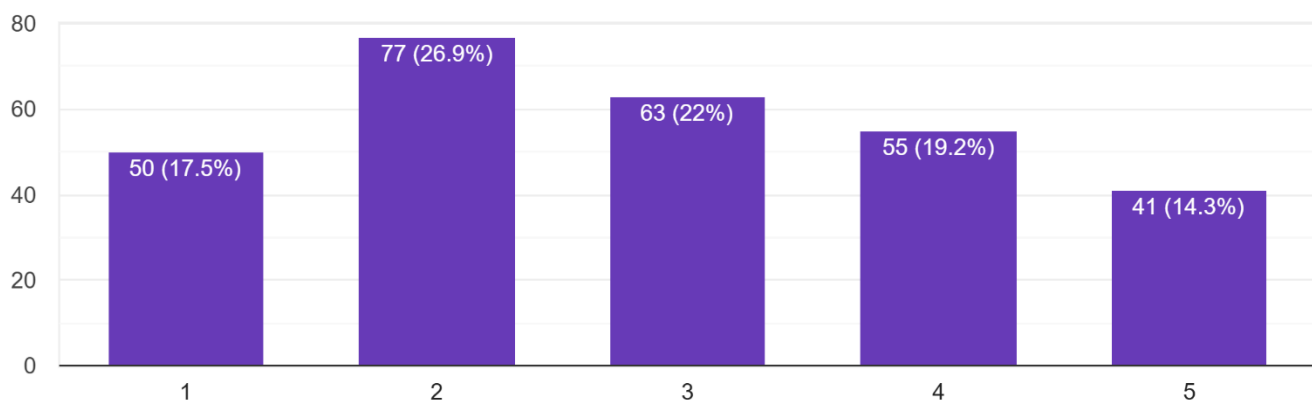
2 家庭では、生徒たちが学習する時間が増えた

286 件の回答



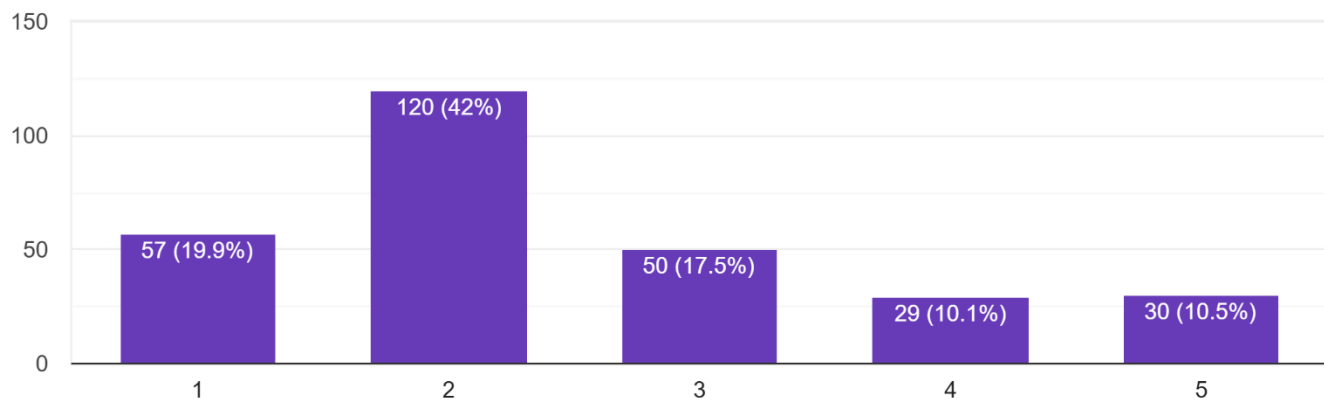
3 家庭では、生徒たちはChromebookを適切に活用している

286 件の回答



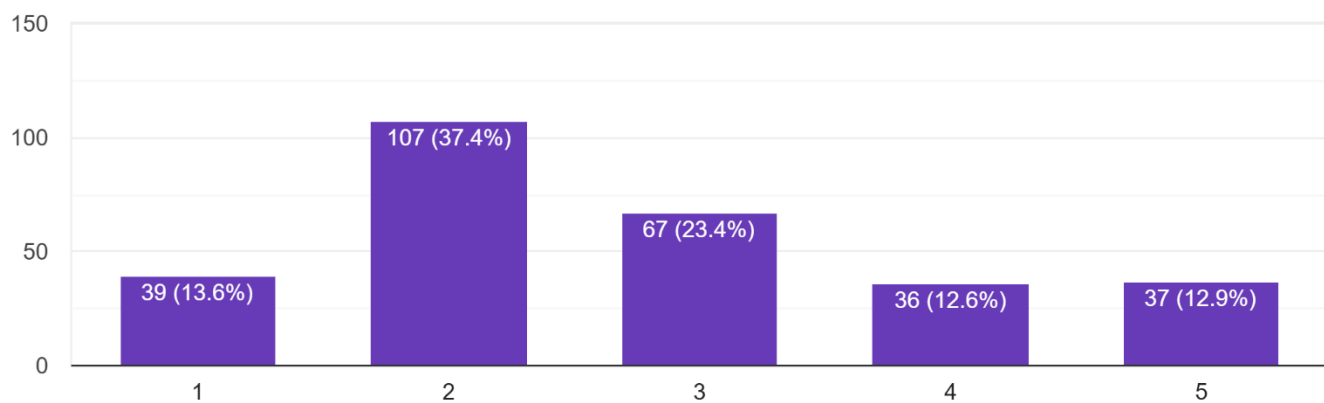
4 生徒たちは、友達との違いを理解し、その違い(多様性)を尊重しながら生活している

286 件の回答



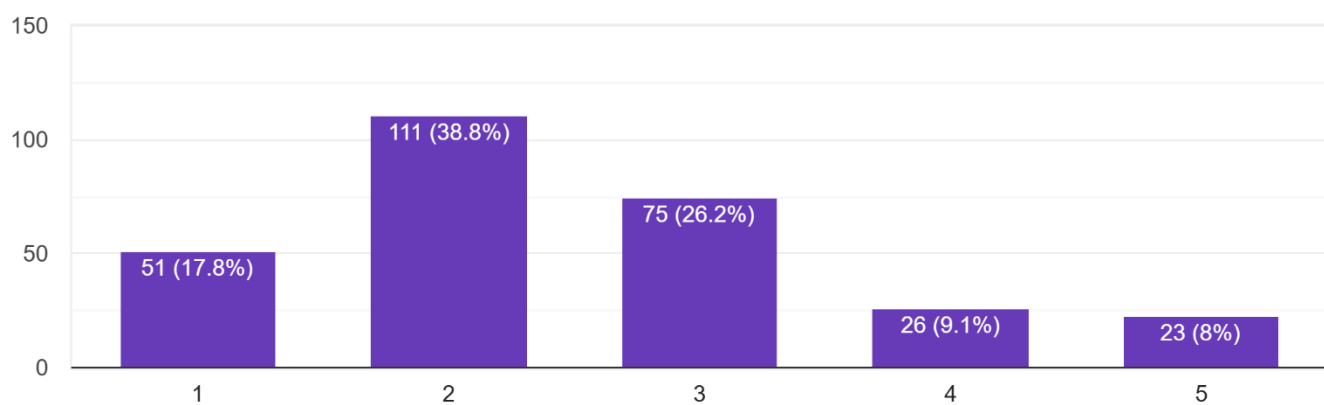
5 生徒たちは、問題を解決するために、仲間と協力(協働)して生活している

286 件の回答



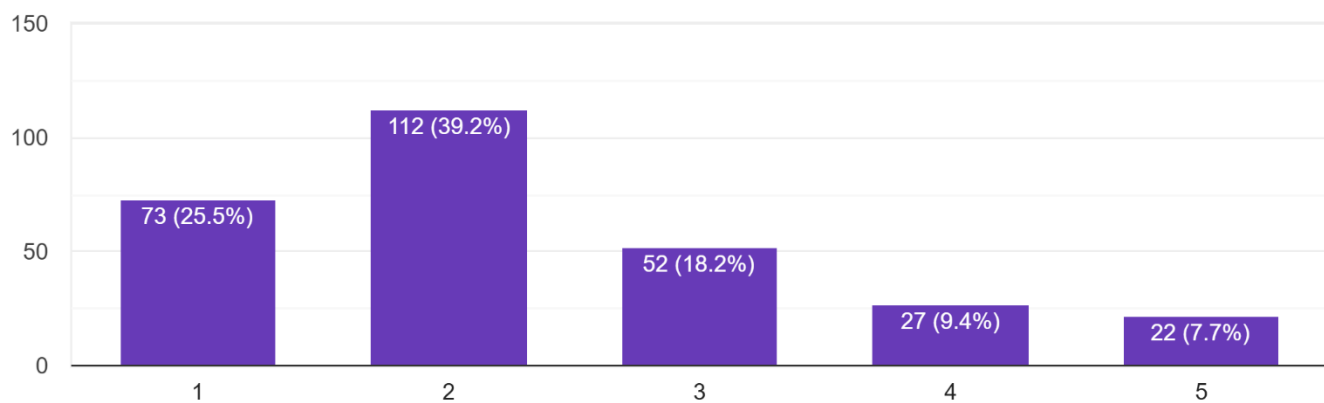
6 生徒は挨拶がよくできる

286 件の回答



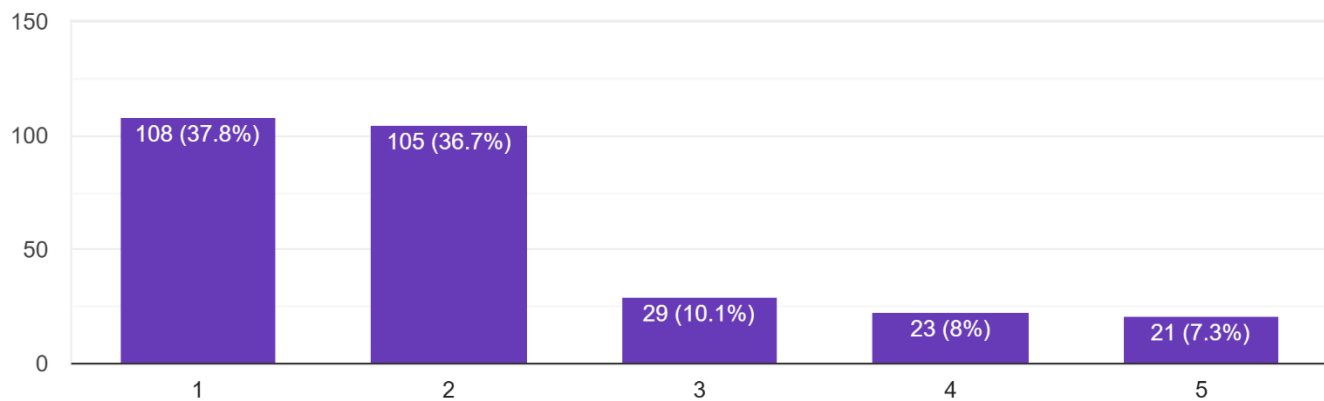
7 生徒は時間や学校の決まりを守って生活している

286 件の回答



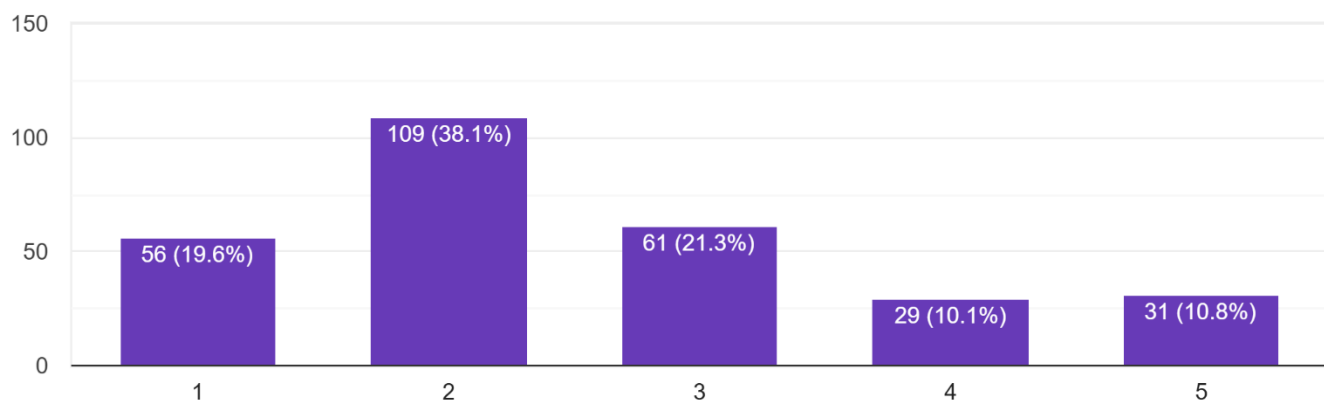
8 生徒の服装・頭髪などは整っている

286 件の回答



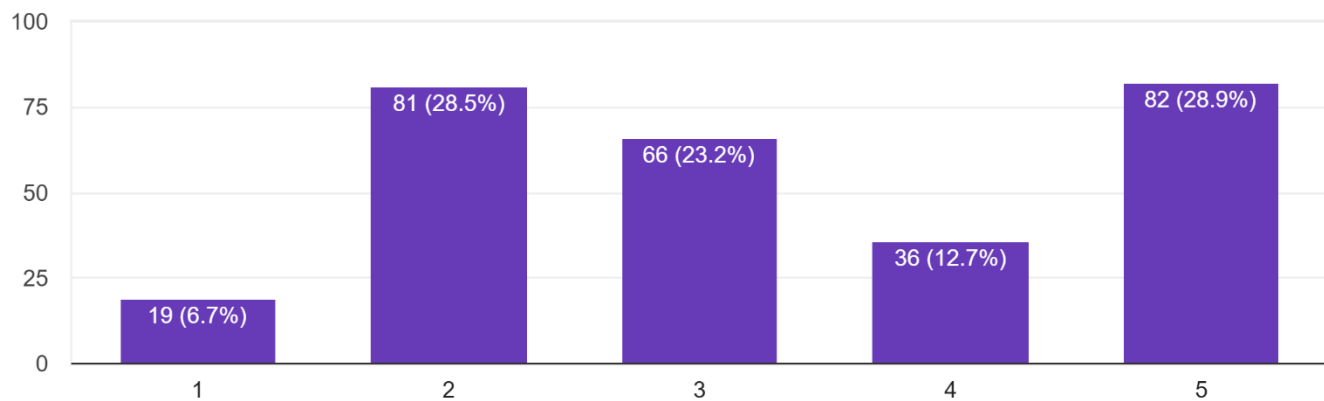
9 学校教育目標は理解できる

286 件の回答



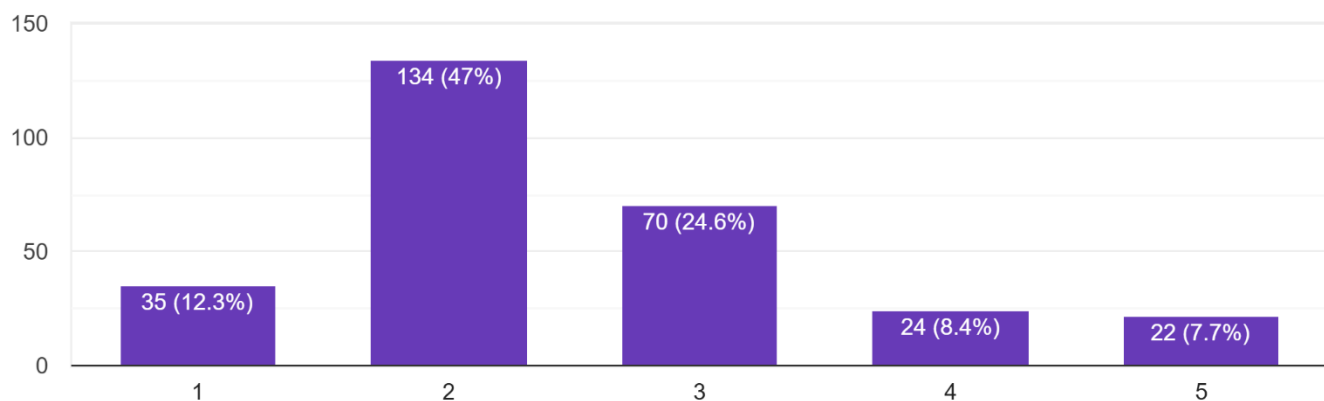
10 学校は、いじめの指導を適切に行っている

284 件の回答



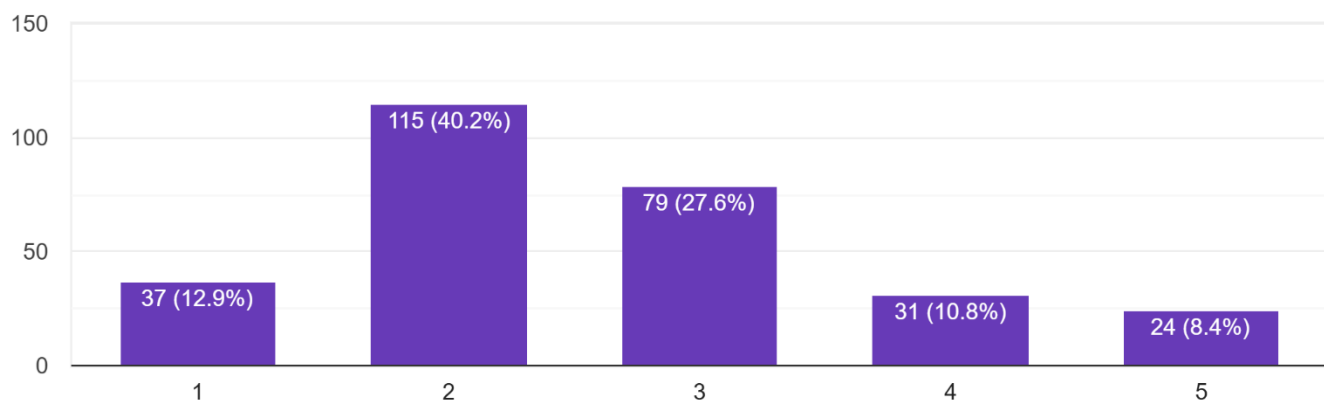
1 1 校舎や教室は清潔で整備されている(参観の様子もふまえてお答えください)

285 件の回答



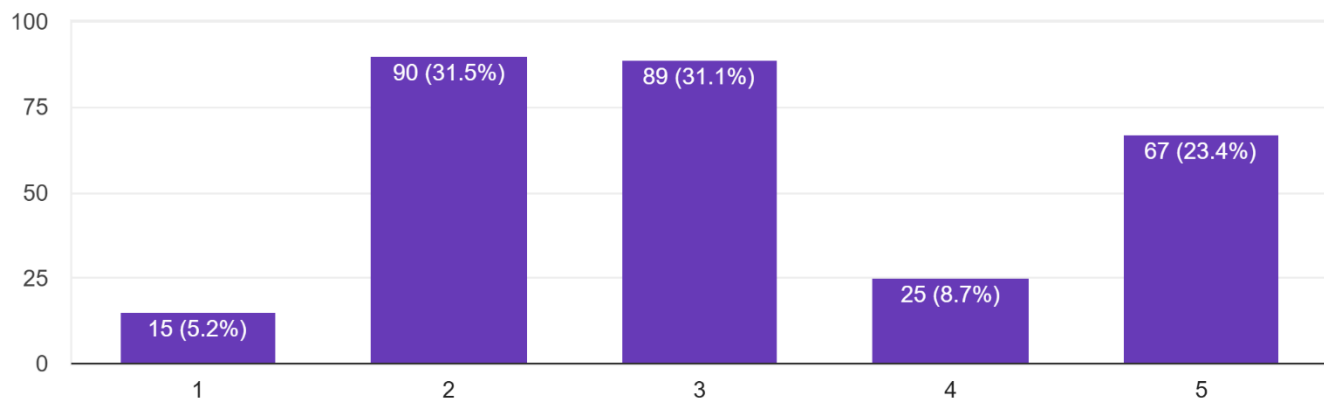
1 2 生徒たちは、学習や生活面において、最後まで諦めずに課題や問題に取り組んでいる

286 件の回答



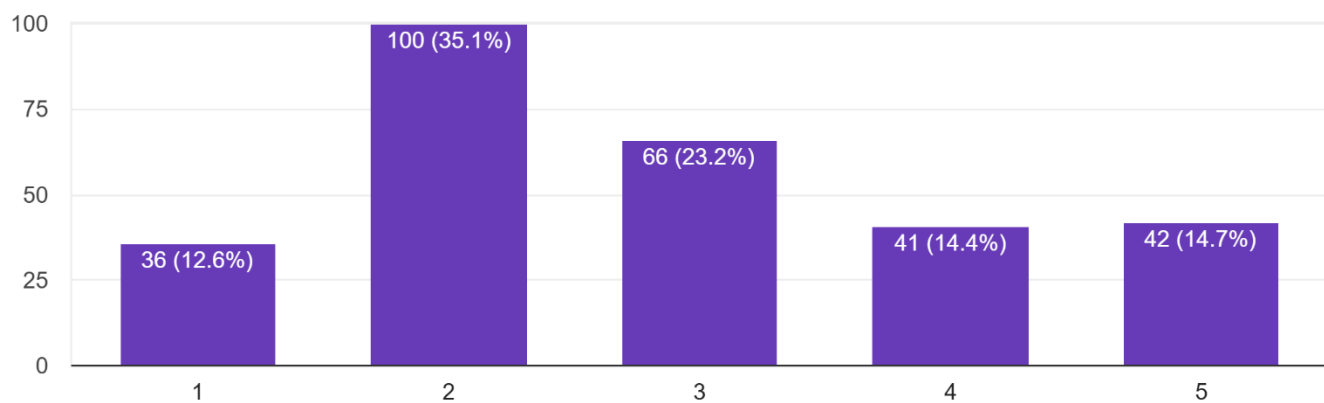
1 3 授業は楽しく学びやすい工夫がある(参観の様子もふまえてお答えください)

286 件の回答



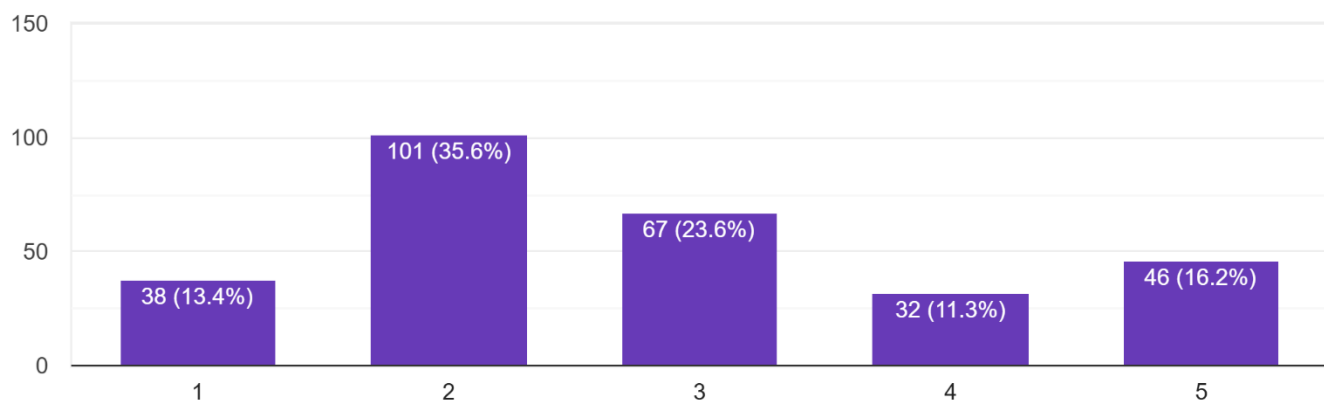
1 4 教職員は、生徒理解に努めている

285 件の回答



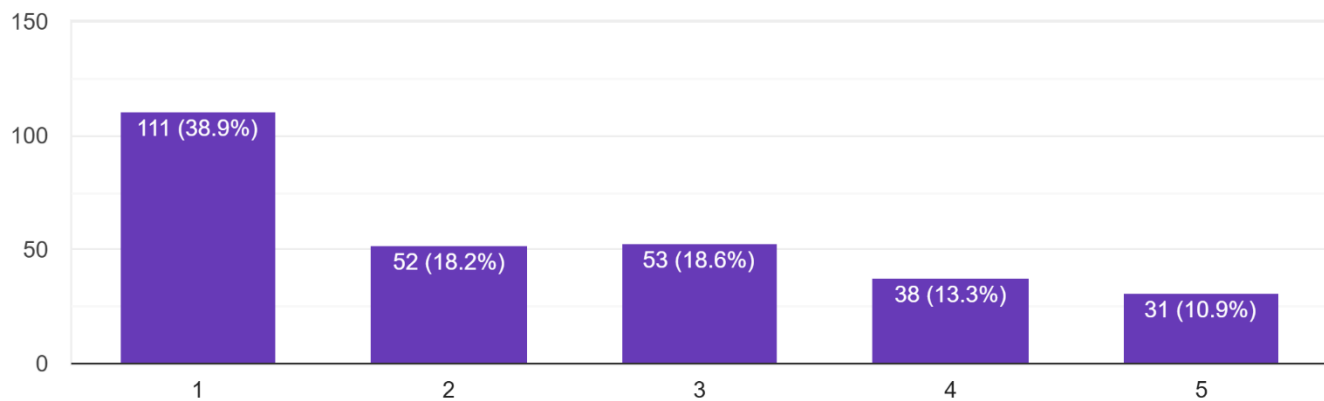
1 5 教職員は、面談等を通して、生徒や保護者に適切な助言をしてくれる

284 件の回答



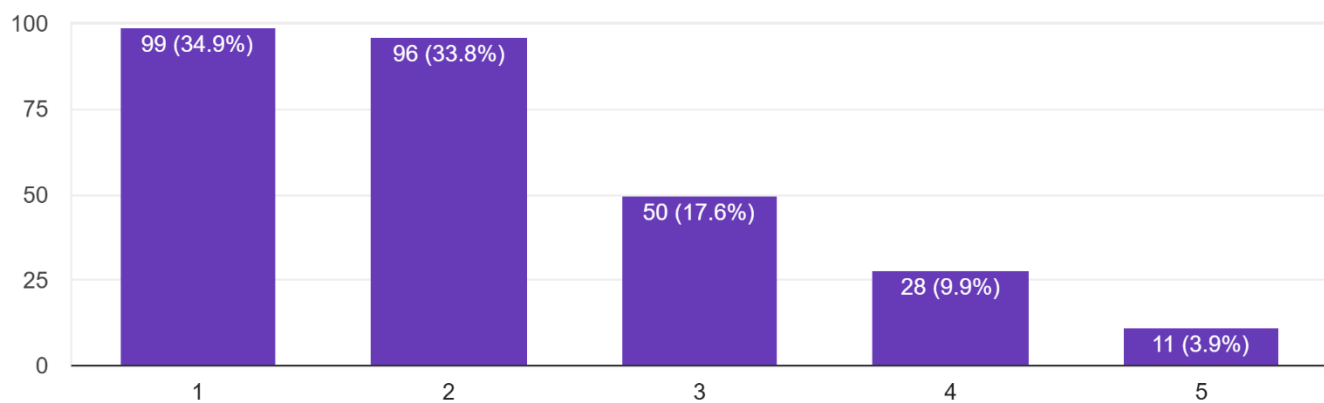
1 6 部活動は、活発に行われている

285 件の回答



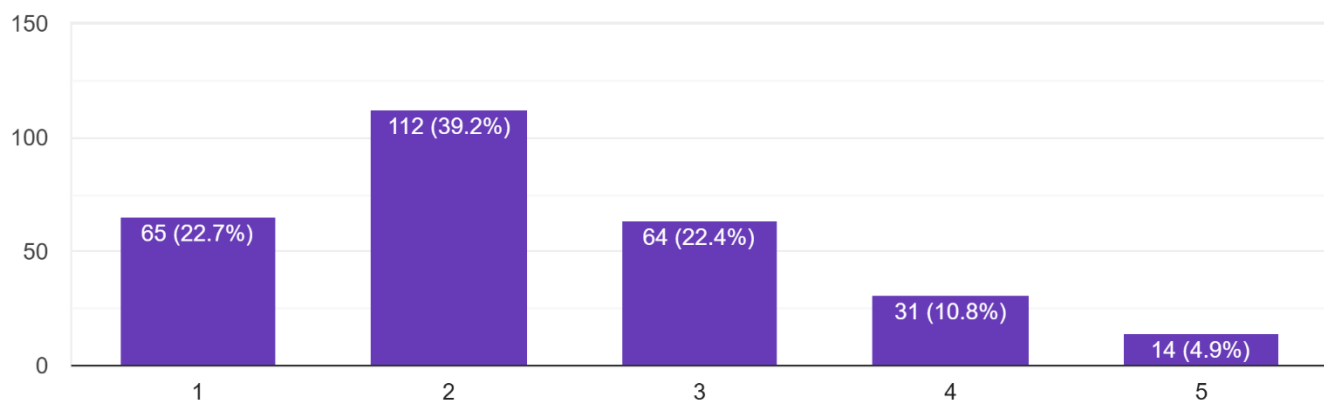
17 行事は、活発に行われている

284 件の回答



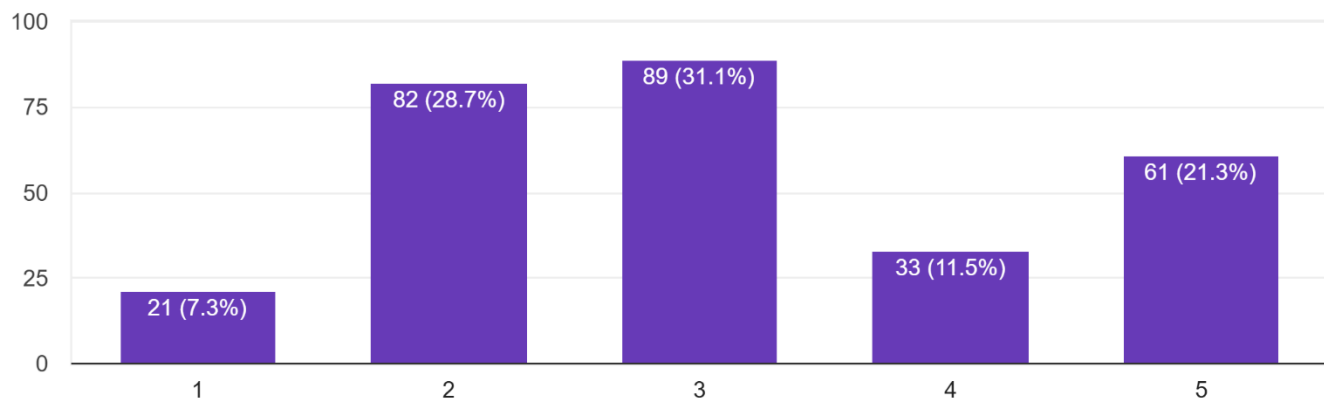
18 学校は、HPやお便り等で情報発信できている

286 件の回答



19 学校運営協議会【サカスク】の活動について理解している

286 件の回答



【定期テストに関するご意見の分析結果】

ご提示いただいた保護者の方々からのご意見を分析した結果、以下のようになりました。

肯定的な意見（全体の約 30%）

外部テストの導入によるメリット：客観的な評価ができる、受験対策になる、他校との比較ができるなど

業者テストのメリット：先生による採点のムラがない、試験に慣れることができるなど

テスト結果の活用：結果がグラフで分かりやすい、進路指導に役立つなど

否定的な意見（全体の約 70%）

テスト内容に関する問題：過去問流出、範囲が広い、授業内容との関連性が低いなど

公平性に関する問題：塾に通っている生徒とそうでない生徒との間で差が出る、過去問がそのまま出題されるなど

学習意欲への影響：難易度が高すぎてやる気をなくす、勉強しても点数が取れないなど

学校側の対応に関する問題：テスト結果の返却が遅い、テスト範囲の通知が遅いなど

部活動との両立：部活動との両立が難しく、学習時間が確保できないなど

その他の意見

テストの頻度や時期に関する意見：テスト回数が少ない、テスト範囲が広すぎるなど

学習環境に関する意見：家庭学習の支援、学校での学習環境の整備など

分析結果のまとめ

外部テストに対する賛否両論：客観的な評価ができるというメリットがある一方で、過去問流出や難易度が高いなどの問題点が指摘されています。

公平性の問題：塾に通っている生徒との間で差が生じているという意見が多く、公平性に疑問を持つ保護者が多くいます。

学習意欲の低下：難易度の高さや、勉強しても点数が取れないという状況が、生徒の学習意欲を低下させている可能性が考えられます。

学校への要望：テスト内容の改善、テスト結果のフィードバックの強化、学習環境の整備などが求められています。

【部活動の地域以降に関するご意見の分析結果】

1. 地域移行に賛成の意見（約 30%）

先生方の負担軽減：教師の働き方改革につながり、生徒指導に集中できるようになる点に賛同。

多様な指導者との出会い：地域の指導者から専門的な指導を受けられる点に期待。

生徒の自主性向上：自ら考え、行動する力を養う機会になると期待。

2. 地域移行に反対または疑問を持つ意見（約 60%）

費用面：月会費の負担増、経済的な理由から部活動をやめざるを得ない場合がある。

運営面：スケジュールが遅れる、情報共有が不十分、指導者の質にばらつきがあるなど、運営面での課題が多い。

教育面：学校教育との連携が不足している、学習との両立が難しくなっているなど、教育的な側面での懸念。

負担増：保護者の負担が増加している（送迎、見守りなど）。

3. その他（約 10%）

まだ様子を見たい：制度が新しく、具体的な効果や問題点がまだ見えていない。

よくわからない：制度の内容や目的が十分に理解できていない。

詳細な分析

費用面：月会費の負担増が大きな問題として挙げられています。特に、経済的に余裕がない家庭にとっては、大きな負担となっています。

情報共有の不足：スケジュールや活動内容に関する情報が十分に共有されていないため、保護者や生徒が不安を感じています。

指導者の質：地域の指導者の質にばらつきがあり、指導内容に不満を持つ保護者がいます。

学校との連携：学校と地域との連携が十分でないため、生徒が戸惑っているケースが見られます。

保護者の負担：送迎や見守りなど、保護者の負担が増加しているという意見が多く見られます。

まとめ

地域移行は、教師の働き方改革という観点から注目されていますが、保護者からは、費用面、運営面、教育面など、様々な課題が指摘されています。特に、情報共有の不足、指導者の質、費用負担の3点が大きな問題として浮上しています。

【チーム担任制に関するご意見の分析結果】

1. チーム担任制に賛成の意見（約 60%）

多角的な視点：複数の先生が生徒を見ることで、より客観的な評価や指導が可能になる。

コミュニケーション能力の向上：様々な先生と関わることで、コミュニケーション能力が向上する。

生徒の成長：多様な価値観に触れることで、生徒の成長を促す。

先生間の連携強化：先生同士が連携し、より良い教育を提供できるようになる。

2. チーム担任制に反対または疑問を持つ意見（約 30%）

効果が実感できない：チーム担任制の効果が具体的に感じられない。

生徒の不安：子供が担任の交代を不安に感じている。

相談相手が不明確：何かあったときに、誰に相談すれば良いのか分からない。

先生間の連携不足：先生同士の連携がうまくいっていない。

負担増：先生方の負担が増加している。

3. その他（約 10%）

よくわからない：制度の内容や目的が十分に理解できていない。

どちらとも言えない：良い面と悪い面の両方がある。

詳細な分析

メリット

多角的な視点から生徒を見ることができる。

生徒の成長を促す。

先生間の連携が強化される。

デメリット

効果が実感しにくい。

生徒の不安や混乱を招く可能性がある。

相談相手が不明確な場合がある。

先生の負担が増加する可能性がある。